

2012年12月18日作成

ブラジルミニレポート

日本語学校

配属先の日本語学校です。サンパウロ州のモジ市というところにあります。生徒はほぼ全員日系ブラジル人（4, 5世）の子弟です。家庭で日本語を使うところも少なくなってきました。必然的に生徒たちの日本語への関心も薄くなり、生徒に日本語学習動機を持ってもらうところから仕事が始まります。



情操教育

月曜日は、情操教育を行う日です。歌や踊り、楽器演奏、体育（陸上）、書道を指導しています。日本語教師と言うより、小学校教師に近いような気がします。日本語だけを教えるのではないので、それがかえていい気分転換にもなります。子どもの指導をしたことがなかったので、未知の分野でしたが、だいぶ慣れてきました。しかし、ここで日本的な躰を教えるのは、とても難しいです。



旅行



こちらの夏休み（12月中旬～1月末）冬休み（7月）を利用して、旅行にでかけます。

ブラジルは場所場所で、雰囲気全然違うので、違う国を旅している錯覚に陥ります。いままで、訪れた中で一番印象に残っているのは、レイソイスという場所です。ここは広大な砂丘（?!）地帯なのですが、雨季になると、そこに水が溜まり、大きな湖が無数にできる、絶景ポイントになります。ここでは泳ぐこともできて、まるで天国にいるかのようです。この場所、日本ではメジャーじゃありませんが、ぜひおすすめしたい場所です!!

アルファ修了生

JICA 日系社会青年ボランティアの日系日本語学校教師としてブラジルに派遣されている松田一希です。ブラジルに来てからというもの、月日が経つのがとても早く、アッという間に1年5カ月が経ってしまいました。活動や生活の一部をお伝えできればと思い、このレポートを作成しました。



授業

授業の風景。月曜日～金曜日まで午前と午後、毎日授業があります。私の担当は小5～高2生まで。年齢、レベルがバラバラなので、一斉の授業は難しい状況にあります。効率のいい授業を目指し、今も思考錯誤の毎日です。



発表会

日本語学校は、地域の日本人会が運営している学校です。月謝は、月に3200円くらいです。安い!! もちろん生徒の月謝だけでは足りないで、日本人会から援助があります。地域の方々が、子どもたちの教育と日本語の普及に力を入れていることがわかります。日本人会のイベントのときは、日ごろの感謝の気持ちを込めて、日本語学校の発表（歌や踊り、楽器演奏、日本語スピーチなど）を行います。



ブラジル料理



こちらにはおいしい料理がたくさんあります。ブラジル人は牛肉をホントによく食べます（豚肉はほとんど食べません）。名物シュハスコ（ブラジルの肉料理）はパーティーやお祝いでは欠かせない料理です。地域によって、いろいろな料理があります。私の一番好きな料理は「ムケッカ」で、サルバドールがあるバイーア地方の魚介煮込み料理です。絶品です!!